

「常滑市地域未来塾の開設」

— 地域の教育力を活用し子どもたちの学力向上を目指す —

常 滑 市

1 事業のねらい

常滑市では、平成28年度に、学習が遅れがちな中学生を対象に、学習習慣の定着や、基礎学力の向上を目的とした「常滑市地域未来塾」を開設した。

開催にあたっては、地域の教育力を活用することを目指し、地域の中からコーディネーター及び学習支援員を募集し、地域の老人会等の協力を受けながら、地域活動の拠点である公民館で実施することとした。

2 事業計画

| 開催場所 | 青海公民館 | 南陵公民館 |
|------------|----------------------------|------------------|
| 対象者 | 青海中学校区の中学生 | 南陵中学校区の中学生 |
| 学習支援員 | 2名（大学生2名） | 2名（大学生1名、地域の方1名） |
| 地域コーディネーター | 1名 | 1名 |
| 申込定員 | 30名 | 30名 |
| 申込者数 | 11名 | 12名 |
| 内容 | 自習形式の学習支援塾を開設する。 | |
| 対象教科 | 国数英社理（当初は、国数英の3教科） | |
| 開催日 | 9月～3月までの土曜日で全13回（2週間に1回程度） | |
| 時間 | 午後1時30分～午後4時30分（3時間） | |

※地域コーディネーターは、学習支援員の指導・助言にあたる。

3 事業の実際

（1）事業開始にあたって

本事業の開始にあたっては、参加者及び学習支援員の確保が課題となった。生徒に対しては中学校で募集チラシを配付したが、南陵における当初の申込者は2名であった。学習支援員についても、当初6名の配置予定が2名の応募しかなく、学生ボランティアに直接依頼することで人員を確保した。



地域未来塾の様子

（2）塾の様子

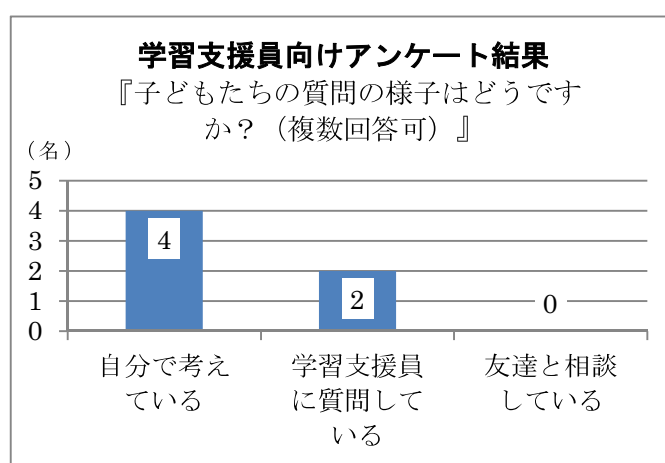
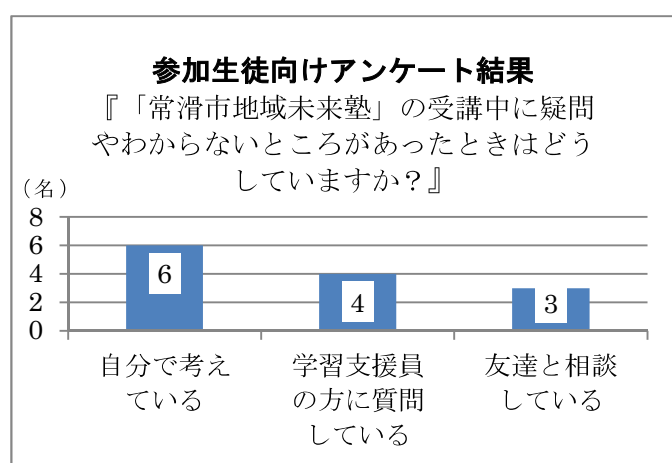
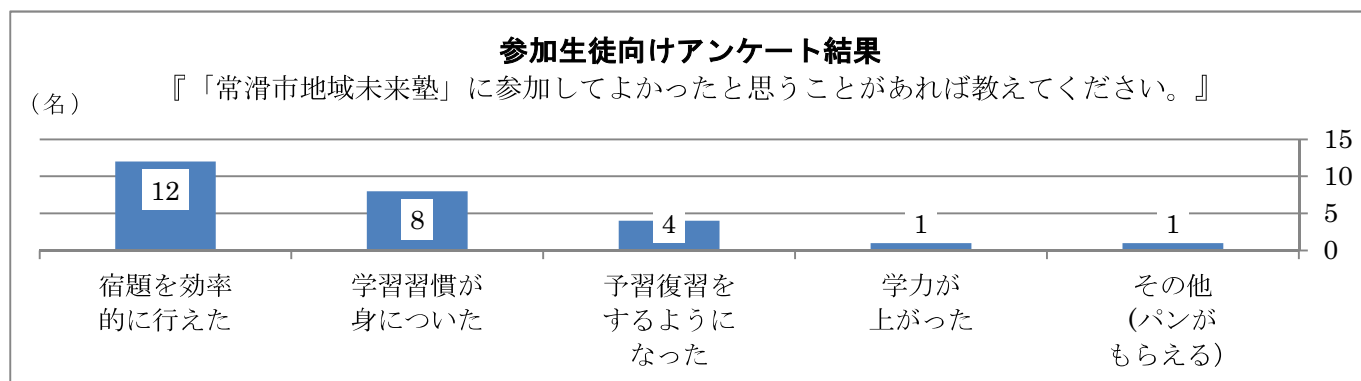
生徒の参加率は青海が70.5%、南陵が56.3%であった。参加している子どもたちは3時間の間、静かに集中して勉強に励むことができていた。地域未来塾の開催にあたっては、社会福祉協議会・更生保護女性会・老人クラブの方からの協力により、毎回開始前に軽食の差し入れがあり、子どもたちは喜んでいました。



パンを配って下さる更生保護女性会の方

(3) アンケートの実施について

ア 12月10日(土)に開催された8回目の未来塾において、参加生徒及び学習支援員に対してのアンケートを実施した。設問は「開催日時について」や「未来塾に対しての感想」、「次年度の参加希望」などとした。以下に結果の一部を紹介する。



【その他参加生徒の意見・感想】

- 「とても集中できる環境なのでいいと思った」
- 「時間が丁度良く、宿題や予習復習もできて良かった。来年も参加したい」
- 「前よりも学習習慣がつき、予習復習などができたので良かった。パンもうれしかった」
- 「みんなが静かだったので集中できた」
- 「分からない所は分かりやすく説明していただいたので、とてもうれしかった」
- 「集中して勉強ができるので、毎週楽しみにしている」等

イ このアンケート結果については、12月14日(水)の学習支援員・地域コーディネーターとの第2回打合せ会において検討した。学習支援員からの感想では「子供たちはとても集中して勉強できている」とのことであったが、「質問の手が挙がってこない」などの意見もあった。

4 成果と今後の課題

アンケート結果にあるように、勉強に集中できる環境を作り、子どもたちに学習習慣を身につけてもらうことができた。

今後の課題として、参加者及び学習支援員の募集方法や、地域コーディネーター・学習支援員の活用方法を検討したい。本事業は地域の教育力向上も目的としているため、もっと地域の力を活用し、地域が主体となって本事業を行えるような仕組みを考えていきたい。